

平成28事業年度  
事業計画

(平成28年1月1日から平成28年12月31日まで)

1. はじめに

中央競馬の動向をみると、発売金が平成24年から3年連続で前年を上回り、平成27年度についても比較的堅調に推移しております。しかし、景気の先行きが依然として不透明な中、今後の経済動向が中央競馬の事業運営に様々な影響を及ぼすことも考えられ、また、人口減少やレジャー産業間の競争激化も進んでおり、取り巻く環境は今後も楽観視できない状況であると思われま

す。また、社会福祉の分野においては、少子高齢化の下、国民の社会福祉へのニーズは益々増大し、かつ、多様化しており、民間の福祉力の更なる向上が求められております。

そうした中で、当財団は、公益財団法人として将来にわたり事業を安定的に進めていくため、事業の公平性、透明性に引き続き十分配慮しつつ、平成28事業年度は以下のとおり取り組みます。

## 2. 平成28事業年度の取組

### (1) 社会福祉事業に対し施設整備等の助成を行う事業

民間社会福祉施設における環境の整備・充実に資するため、引き続き関連規程に則り助成事業の適正かつ効果的な執行に努めます。

また、平成24年度に策定した業務改善事項について、以下のとおり一部見直しを行います。

- ① 各馬主協会及び各県共同募金会毎に、1物件当たりの助成金の平均額を概ね100万円以内とすることについて

当財団に対する多くのニーズに応えるため必要な助成件数を確保しつつも、助成金額については、要望の必要性・重要性に応じてより柔軟に取り扱うことができるよう各々基準となる最低助成件数のみを定めることとします。

- ② 各馬主協会及び各県共同募金会毎に、車両等一般の人の目に触れる物件への助成割合を助成金交付額の50%以上とすることについて

当財団の助成事業に対する社会的認知度を高めるため引き続き車両を重点的な助成物件としつつも、より多様なニーズに対応できるように車両に対する助成割合の設定は行わないこととします。

## **(2) 社会福祉事業関係者の研修事業に対し助成を行う事業**

社会福祉事業における人材の育成に資するため、民間社会福祉施設で働く職員を対象とした海外研修活動及び国内研修活動に対し、引き続き適切な助成を実施します。

## **(3) 中央競馬関係者の福利厚生の上ののための事業**

事務手続を着実に実施し、引き続き福祉手当の適正な支給を行います。

## **(4) 管理業務**

マイナンバー制度の適確な運用など管理業務を円滑に実施するとともに、予算の適正な執行に努めます。